

日野市立日野第四中学校

令和6年度 授業改善推進プラン(国語科)

1. 生徒の現状

活用した資料等	各学年の分析結果
<p><1年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びに向かう力等に関する意識調査 ・日野市総合学力調査の結果 <p><2年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びに向かう力等に関する意識調査 <p><3年生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査(3年) 	<p><1年生></p> <p>・平均正答率において、基礎は68.9%に達したが、応用は39.8%であった。特に「記述式」や「書くこと」の観点で正答率、達成率が半分を下回っている。国語の学習は分かると感じているが、「どちらかといえば得意ではない」「得意ではない」が45%と、自分の考えを文章で説明することが苦手な傾向である。</p> <p><2年生></p> <p>・「漢字の部首の意味も考えながら覚えている。」が、33%、「似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている。」が42%、「文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。」が42%と、半分に達していない。他の漢字との関連を確認しながら覚えるという学習の仕方があまり身に付いていないと考えられる。また、自分の言葉で説明することに苦手意識がある。</p> <p><3年生></p> <p>・「文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる」が34.4%、「話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」が45.9%と、以上の観点で半分を下回り、また都の平均を下回っている。様々な情報や話題と結び付けて内容を捉えたり、自分の考えをまとめたりすることが苦手な傾向にある。</p>

2. 授業改善策

改善の観点	具体的な改善策
<p><1年生></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 読み取ったことを説明する。 (2) 漢字の使い方 <p><2年生></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 漢字の覚え方。 (2) 読み取ったことを説明する。 <p><3年生></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 図や表を用いた文章の読み取り (2) 話し合い活動 	<p><1年生></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 教科書の該当する部分を、自分の言葉で短く簡潔にまとめる活動を取り入れる。 (2) 新出漢字を学習する際には、類義語や対義語などを確認する。また、用例を3つ以上考えさせるようにする。 <p><2年生></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 特に新出漢字を練習する際に、部首や類義語、対義語についても確認させながら覚えさせる。 (2) 授業の中で、読解したことを口頭で説明する機会を増やし、相互の考えに触れることにより、さらに考えを深めさせるように工夫をする。 <p><3年生></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 図や表を用いた文章読解の機会を増やし、正確に情報を読み取り内容を捉える練習を積む。 (2) 他者の意見を聞くだけでなく、他者の意見と結び付けて自分の考えをまとめる力を身に付けられるように、話し合いの学習活動を組み立てる。